

人文書・歴史書 ご担当者 様

有志舎の新刊です。2023年2月上旬刊行

関東軍と満洲駐兵問題

—現地軍「独断的行動」のメカニズム—

後藤啓倫 著

A5判・ハードカバー・296ページ 本体価格 6,200円

関東軍の「独断的行動」のメカニズムを描き出す！

【目次】

- 序章 現地軍と軍事行動の自由をめぐる
- 第一章 関東都督府の設立
- 第二章 日中陸軍共同防敵軍事協定の締結
- 第三章 関東軍の独立
- 第四章 日中陸軍共同防敵軍事協定の廃止と北満駐兵問題
- 第五章 ワシントン会議と在中国外国駐屯軍問題
- 第六章 治安維持と関東軍
- 第七章 独立政権樹立論の登場と張作霖爆殺事件
- 第八章 柳条湖事件の勃発
- 第九章 日満議定書と日満守勢軍事協定の締結
- 終章 関東軍・提携相手・統帥権独立

〈著者紹介〉後藤啓倫（ごとう ひろみち）：星槎道都大学社会福祉学部専任講師、日本近代史専攻。

～版元から～ 1931年に満洲事変を引き起こした関東軍は、政府の不拡大方針をことごとく突破し、その独断的行動によって満洲国を承認させ、満洲における駐兵権と軍事行動の自由を確立していきました。しかし、戦前日本において現地軍が「独断的行動」をとっていくのは、単なる「統帥権独立」の結果ではありません。外地・満洲における駐兵問題の解決が統帥権の問題と密接に絡み合って登場したとき、それは引き起こされたのです。本書は、満洲現地において統帥権が「独立」するメカニズムと同時に、関東軍そのものの構造だけではなく、現地軍と提携相手との関係にも注目して、近代日本の政軍関係研究に新しい視角を切り拓いていきます。

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南4-19-2 クラブハウスビル1階 (有)有志舎 電話:03-5929-7350

番線印	ご注文	発行：有志舎	分野
	冊	関東軍と満洲駐兵問題 —現地軍「独断的行動」のメカニズム— 後藤啓倫 著	日本史（近代）
	ご担当	A5判・ハードカバー、296ページ 本体価格 6,200円	弊社はいつでも返品を受け付けていますが、逆送のご心配がある場合は、「永滝 了解」として返品下さい。
	様	新刊 ISBN 978-4-908672-62-0 C3021	

ご注文は 有志舎 担当：永滝（ナガタキ）まで FAX：03-5929-7352

当社商品の取扱取次はトーハン・JRC・八木書店ですが、日販・楽天BNほか、いずれの取次でも左記取次経由で送品します。なお、JRCからも同じ注文書が重複して送られた場合は、この弊社あての注文書だけをご返信ください。